



柴田 勇雄 議員

問 新庁舎建設の進捗状況は

答 複合施設化し5階建てに

今年度5月までに庁内検討委員会を2回、外部検討委員会を1回開催し、新庁舎建設基本計画を策定した。建設予定地の安全性、地盤調査、日照の影響や敷地の有効活用策等多くの諸条件のクリア項目が発生した。一方、様々な機能複合化により、

進捗と今後の情報発信
議員 新庁舎建設の進捗情報が伝わってこない理由は。また、今後の情報発信対応策は。
町長 28年発生の熊本地震の際、行政の中枢拠点となる庁舎が甚大な被害を受け、業務に著しい支障が出たため、国では、古い庁舎建て替えの場合、事業費の2割程度の助成措置を新たに創設した。この助成措置を受け、財政負担の軽減策として、29年度から新庁舎の諸準備を進めてきている。



新庁舎建設庁内検討委員会・幹事会の様子

施設規模が拡大し、調整項目も膨らみ、進捗情報をお知らせできなかった。 構造は、一部5階建て、内外のデザインでは、床・壁は町産材などの木材を活用する。「葛巻らしさ」を前面に、魅力的で地域特性を活かし、皆さんから親しまれる施設にした。複合施設化では、役場庁舎が担う「行政機能」、総合センター、保健センターが担う「交流機能」、消防分署が担う「防災機能」、商工会、盛岡信用金庫葛巻支店が担う「商工・金融機能」を一つの建物に集約させたい。新庁舎は、新たな町民サービスの総合的な拠点となることから、今後、様々な機会を捉え、町民の皆さんにこの事業が身近に感じられるような情報を発信していく。

避難所には必要性を認識しているが今後、検討を進める。

エアコンの設置状況
議員 保育園、小、中学校、避難所へのエアコン設備の設置状況と今後の対応策は。
町長 保育園、小、中学校の暖房設備は、全施設の室ごとに石油ファンヒーターなどを設置しているが、冷房設備は新築・改修を終えた2つの小学校の一部教室に設置。避難所の各地区センター等38施設は、暖房設備のみとなっている。

～今ここが聞きたい～

12月10日に、5議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。



山崎 邦廣 議員

問 新学習指導要領への取組みは

答 移行を踏まえ連携し教育を向上

小・中学校の取組み
議員 新しい学習指導要領へ移行の現状を伺う。
町長 29年3月に公示された新学習指導要領は、今後の社会情勢の変化を見据え「他者と協働して課題を解決していく力」「様々な情報を見極め、情報を再構成する力」などを、いかに子供たちに身に付けさせるか、中央教育審議会の議論を経て改訂に至った。

小学校は32年度から、中学校は33年度からそれぞれ移行期間を経て全面实施となる。移行に向け、「新しい教科書等の対応を要しない場合、新学習指導要領による取り組みができるようにする」「各教科等に内容を一部加える等の特例を設ける」「特別の教科・道徳は、小学校は今年度から、中学校は来年度



外国語活動の授業をする外国語活動支援員(左)と外国語指導助手(右)

から新学習指導要領による」「小学校の外国語活動の授業時間を確保することなどが示された。これを踏まえ、町と県教育委員会等主催の研修や町単独事業で配置の「学校教育アドバイザー」による訪問支援、特別の教科・道徳のため映像教材等教育環境の整備、そして、英語科教員免許を有する外国語活動支援員

を町単独事業で配置し支援を行っている。今後も、新学習指導要領の全面实施へ、より一層の充実を図っていく。
議員 小・中学校における教育の質の保障について考えを伺う。
町長 町内小・中学校いずれも各学年1学級以下の小規模校であるが、「見

また、小・中学校の連携、連携型中高一貫教育の推進など教職員や地域住民一丸となった取り組みや、異学年集団での協働学習、体験学習、また複数小学校合同の学習活動など、社会性を涵養し多くの体験を積む機会を創出している。今後も、取り組みを継続・発展させ、教育の質の向上に努めたい。

児童・生徒一人ひとりの学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充学習や個別指導を含めたきめ細やかな指導が行いやすい」「相互に学びあう活動を充実させることができる」などのメリットを生かした教育活動を行っているほか、教材費の拡充、ICT機器の充実、さらに、小学校3校に学力向上支援員を配置するなど教育環境の構築に力を入れている。



やまぎし みるみ 議員
山岸はる美

問 土日・祝祭日の町バス運行は

答 休日の需要を把握し検討

風車建設現場の見学

議員 くずまき第二風力発電所の建設現場の見学実施の考えは。

町長 これまでも町内の児童、生徒には社会科見学や環境教育の一環として風力発電所等の見学を実施している。くずまき第二風力発電

休日のバス運行

議員 町有バスによる土日・祝祭日のバス運行の考えは。

町長 町のイベントの際には、バス事業者に運行を依頼し2路線で1日2往復している。利用実績は、1本当たりの平均乗車人数は5人程度の状況。こうした状況を踏まえ、当面は現状の運行体制を維持し、住民の生活交通と休日運行に対するニーズの把握、利便性の向上を検討したい。

建設工事の映像記録

議員 風車建設を映像に

所は22基のうち、4基の風車が設置された。来年度は、残り18基の風車の建設のため工事車両が増加するほか、事業者は安全面に細心の注意と配慮をしており、事故防止のため関係者以外の立ち入りを禁止していることから、見学は難しいと思われる。

安全な保育施設の整備

議員 川沿いに立地している保育所の安全な場所への移転と、認定子ども園の乳児室等の整備は。

記録して活用する考えは。町長 工事の記録映像は、今後受け入れる視察や見学者に対する貴重な資料になることから、可能な範囲で記録できるよう検討し、事業者にも協力を依頼したい。



建設工事中のくずまき第二風力発電所

町長 小屋瀬、江刈、五日市の3保育所は、河川に近い場所に建設されており、自然災害の危険性を認識している。安全な場所への移転を希望する保護者の声も把握している。今後、「就学前教育の在り方検討委員会」で幼児教育の専門家の意見を聞きながら、安全性を確保しつつ小学校との連携が図られる場所への整備の方向性を取りまとめた。また、認定子ども園葛巻保育園では、乳児室(0歳児)は8人で使用しており、保育室は1・2歳児(19人)、3・4歳児(29人)、5歳児(19人)でそれぞれ一室使用している状況。

本来は、年齢ごとの保育室が望ましいと考えることから、「就学前教育の在り方検討委員会」での協議を踏まえ、施設環境の改善を検討したい。



あねたい はるじ 議員
姉帯春治

問 新病院 患者数の推移は

答 入院一般病床は微増

新病院の患者動向

議員 新病院の患者利用は旧病院と比較してどうなっているか。

町長 昨年9月から新病院での診察がスタートし今年8月までの1年間の患者数は、前年同期と比較し一般病床の延べ入院患者数は1555人増の9038人となっております。冬期間の患者数が増加している。介護療養型病床は、地域包括ケア病床の導入に向け、受け入れの調整を図っていることから延べ入院患者数は689人減の4656人。外来の患者数は2409人減の3万1138人となっております。薬の処方期間を長くしたことなどが要因の一つと考えられる。利用に当たって患者からの意見や要望は、実際の診察が予約時間より大幅に遅れたという予約診

屋根付きのバス停

議員 病院に屋根付きのバス停を設置する考えは。

町長 現在、役場新庁舎の整備を進めているので、統一的な外構とするため一体的な工事についての検討、調整を図っていることから、当面現状のままでの利用をお願いしたい。

江刈地区水道の進捗

議員 今年度完了予定の江刈地区水道整備事業の進捗状況は。

町長 江刈地区の水道施設は、最も古い箇所给水開始から45年が経過しており、有収率が低下し漏水による断水が多発す

今後の水道整備計画

議員 来年度以降の水道整備計画は。

町長 現時点で最も古い水道施設のほとんどが整備後30年以上経過していることから、その他の施設についても計画的な整備、更新を検討する。

施設は、二ツ石地区に水源をもつ馬淵川地区水道施設で、給水区域は二ツ石地区から下冬部地区、給水人口714人、給水戸数349戸で、老朽化などの影響で有収率が低下し、配水管などの故障が多発している。水道施設のほとんどが整備後30年以上経過していることから、その他の施設についても計画的な整備、更新を検討する。



完成に向けて工事が進む江刈地区水道(中村地区)



たつやなぎ 辰柳 けいいち 議員

問 畜産公社の育成牛舎建設は

答 建設場所などを具体化

育成牛舎の老朽化対策

議員 老朽化している畜産開発公社の育成牛舎の建設計画は。

町長 公社では、昭和52年から酪農家が搾乳に専念できる機能分担の考えのもと周年預託事業を開始し、現在町内外から2000頭を超える預託牛を受け入れている。

現在使用している育成牛舎は、設立当初からの施設で老朽化が進んでおり、再整備が必要。整備には、畜産クラスター事業の活用を検討しており、公社と建設場所や施設規模などについて協議を進めている。

粗飼料生産の効率化

議員 畜産開発公社の粗飼料生産の効率化により、町内酪農家の生産を担う考えは。

町長 酪農家は経営規模

の拡大に伴い、労働力不足が懸念され粗飼料生産は大きな負担となっている。

今後、新葛巻型酪農構想で農作業の受託組織となるコントラクターについて農家組織の取り組みを支援し、組織の育成を図る。構想実現に向けて策定した畜産クラスター計画では、公社に牧草、デントコーンなどの収穫機械を整備し、収穫作業の受託体制を構築することとしている。

運動公園の利用者数

議員 総合運動公園の今年度利用状況は。

町長 町では「スポーツで心ゆたかにたくましく」をスローガンに生涯にわたるスポーツの推進、交流人口の拡大で活性化に努めてきた。多目的グラウンド、野球場、ゲートボール場、テニスコー

ト改修などの施設機能充実により、町外からの各種大会も開催され、今年度の利用者数は10月末現在で1万5700人を超え、前年同期で約27%増となっている。今後もスポーツ備品の整備充実を図り、利用者の増加に努める。

スポーツ合宿の利用

議員 合宿等で運動公園を利用されなかった要因

は。

町長 学生のスポーツ合宿は、夏休みとなる7月から8月に集中することで利用できなかった事例があった。こうした状況を踏まえて、利用申し込みと施設管理の一部をグリーンテージで行い、施設利用と宿泊を一体的な管理体制にし、施設利用のサービス向上に努め積極的な誘致活動に取り組んでいく。



人工芝に改修されたゲートボール場